

がんサポートチーム（緩和ケアチーム）

里見 絵理子・廣常 秀人（室長）

がんサポートチームでは、がん診断早期からの緩和ケアとして、身体的苦痛、心理社会的苦痛、スピリチュアルな苦痛の緩和について、医師、看護師、薬剤師、MSW、心理療法士、管理栄養士で構成されるチームで、がん患者とその家族の支援を行っている。日本緩和医療学会を始め、緩和ケア関連研究会、院内外の医療者および患者家族の緩和ケア教育に携わり、臨床に基づいた研究、教育を目指している。

【2011 年度研究発表業績】

A-0

Yagi T, Ishikawa J, Aono N, Yamashita Y, Kusakabe S, Yoshinami T, Akazawa Y, Sakai D, Yamamoto S, Hamanaka Y, Masaie H, Sugimoto N, Yoshida H, Tomita Y, Imamura F. Epstein-Barr virus-associated post-transplant lymphoproliferative disorders after allogeneic peripheral blood stem cell transplantation for Hodgkin-like adult T-cell leukemia/lymphoma. Int J Hematol (2012) 95:214-216

A-2

青野奈々、所昭宏、吉内一浩：内分泌系腫瘍、原発不明腫瘍「精神腫瘍学」内富康介、小川朝生、P.287-290、医学書院、大阪、2011年10月

A-6

楠木重範 悪性リンパ腫 PP101~がんナーシング 2012年2月

B-2

Eriko Satomi, Tesuhiko Yoshida, Nana Aono, Shigenori Kusuki, Junko Ueda, Mari Oike, Kinuyo Kajihara, Kazuyo Matsuyama, Atsunori Inoue, Michiyo Azechi, Hideto Hirotsune, Toshimasa Tsujinaka Restless legs syndrome in palliative care patients with cancer. 12th congress of European association for palliative care Portugal, 2011年5月

B-3

里見絵理子 青野奈々、廣常秀人、長谷川裕子、三田英二、平尾素宏、藤谷和正、辻仲利政：胃癌診療における緩和ケアチーム介入～早期からの緩和ケアをめざして～。第84回日本胃癌学会総会シンポジウム5、大阪、2012年2月

B-4

青野奈々、里見絵理子、吉田哲彦、上田純子、尾池真理、松山和代、井上敦介、楠木重範、廣常秀人、辻仲利政：緩和ケア臨床における Restless legs syndrome 第16回日本緩和医療学会学術大会、札幌、2011年7月

坂井大介、杉本直俊、青野奈々、吉波哲大、山本幸子、屋木敏也、今村文生：ケナコルト胸腔内投与はがん性胸水の症状改善に対しての有効性が示唆される 第16回日本緩和医療学会学術大会、札幌、2011年7月

吉波哲大、屋木敏也、青野奈々、山本幸子、坂井大介、杉本直俊、菰池佳史、今村文生：前治療歴のある転移性乳がん症例に対するゲムシタビンの忍容性について 第9回日本臨床腫瘍学会学術集会、横浜、2011年7月

青野奈々、里見絵理子、廣常秀人、長谷川裕子、山本和義、平尾素宏、藤谷和正、三嶋秀行、辻仲利政：腹膜播種合併胃癌症例に対する症状緩和の実態 第84回日本胃癌学会総会、大阪、2012年2月

尾池真理、上田純子、梶原絹代、四方文子、道川綾加、松本洋美、徳永尚美、井上敦介、松山和代、里見絵理子、廣常秀人：がん疼痛治療におけるオピオイドに関するインシデントレポートの分析 第16回日本緩和医療学会学術大会、北海道、2011年7月

上田純子、石井和子、尾池真理、梶原絹代、四方文子、道川綾加、徳永尚美、里見絵理子：がん患者の症状に対するアロマセラピーの有効性の検討。第16回日本緩和医療学会学術大会、北海道、2011年7月

松山和代、里見絵理子、井上敦介、槇原克也、上田純子、尾池真理、梶原絹代、山内一恭、本田芳久、廣常秀人、小森勝也：がん性神経障害性疼痛に対するプレガバリンの使用経験、第16回日本緩和医療学会学術大会、札幌、2011年7月

井上敦介、里見絵理子、松山和代、上田純子、尾池真理、上野裕之、山内一恭、本田芳久、廣常秀人、辻仲利政、小森勝也：24時間持続型フェンタニル貼付剤の使用状況及び有用性に対する検討。第16回日本緩和医療学会学術大会、札幌、2011年7月

楠木重範、廣常秀人、上田純子、里見絵理子：小児患児・家族への介入～急性期総合病院緩和ケアチームの取り組み～。第16回日本緩和医療学会学術大会、札幌、2011年7月

上田純子、四方文子、尾池真理、梶原絹代、江波亜矢子、阿島美奈、宮本ひとみ、渡津千代子、里見絵理子、辻仲利政：がん患者カウンセリングにおける実態と今後の課題。第65回国立病院総合医学会 岡山、2011年10月

B-5

里見絵理子：がん性疼痛の評価と治療。大阪警察病院緩和ケア研修会 大阪、2011年4月

里見絵理子：症例で学ぶがん疼痛のマネジメント。東成区医師会学術講演会 大阪 2011年6月

里見絵理子：オピオイドを開始するとき。平成23年度国立がん研究センター緩和ケア基本教育のための指導者研修会、船橋、2011年5月

里見絵理子：教育の実践 「双方向性講義の実践」。第16回日本緩和医療学会緩和ケア基本教育のための指導者研修会、大阪、2011年7月

里見絵理子：オピオイドを開始するとき。淀川キリスト教病院緩和ケア研修会、大阪、2011年8月

里見絵理子（ファシリテーター）：大阪府立成人病センター地域緩和ケア研修会、大阪、2011年9月

里見絵理子：がん性疼痛の評価と治療。大手前病院緩和ケア研修会、大阪、2011年10月

里見絵理子（座長）：大阪緩和ケアチーム医療研究会、大阪、2011年10月

里見絵理子（座長）：症例検討会。第4回大阪緩和ケア連携カンファレンス、大阪、2011年11月

里見絵理子：オピオイド抵抗性腹部腫瘍の一例。大阪がん緩和ネット研究会、大阪、2011年11月

里見絵理子：症例から学ぶがん疼痛のマネジメント。りんくう医療センター学術講演会、大阪、2011年12月

里見絵理子：全身倦怠感。大阪府緩和ケアフォローアップ研修会2011、大阪、2011年12月

里見絵理子：がん疼痛事例検討。第18回日本緩和医療学会緩和ケア基本教育のための指導者研修会、大阪、2011年12月

里見絵理子：神経障害性疼痛の治療～プレガバリンを中心に～。東成区医師会学術講演会、大阪、2012年1月

里見絵理子：緩和医療における吐き気のマネジメント。第12回大阪緩和医療フォーラム、大阪、2012年2月

里見絵理子（ファシリテーター）：熊本赤十字病院地域緩和ケア研修会、熊本、2012年3月

里見絵理子（ファシリテーター）：九州がんセンター地域緩和ケア研修会、福岡、2012年3月

里見絵理子：倦怠感。がんサポートチームセミナー、大阪、2011年10月

里見絵理子：Liverpool care pathway について。がんサポートチームセミナー、大阪、2011年7月

里見絵理子（座長）：第6回法円坂緩和ケアセミナー、大阪、2012年3月

青野奈々 HIV感染症に合併した原発不明癌の一例 第4回大阪緩和ケア連携カンファレンス、大阪、2011年11月

上田純子：がん性疼痛緩和における非薬物的アプローチの方法と選択。大阪府看護協会 がん性疼痛看護認定看護師研修部、大阪、2011年7月

上田純子：がん患者の症状に対するアロマセラピーの有効性の検討。大阪がん緩和ネット研究会、大阪、2011年11月

上田純子：がん看護教育プログラム ステップⅠ「がん患者の看護上の問題」。がん看護プロジェクト、大阪、2011年12月

上田純子：がん看護教育プログラム ステップⅡ「コラボレーション」。がん看護プロジェクト、大阪、2012年1月

上田純子：静脈注射プログラム 麻薬の実際。看護部、大阪、2012年3月

上田純子：がん疼痛薬物治療の実際。がんサポートチームセミナー、大阪、2011年9月

尾池真理：がん性疼痛緩和における非薬物的アプローチの重要性。大阪府看護協会がん性疼痛看護認定看護師研修部、大阪、2011年7月

尾池真理：がん疼痛治療におけるオピオイドに関するインシデントレポートの分析。大阪がん緩和ネット、大阪、2011年11月

尾池真理：がん看護相談とがん支持・緩和療法チームにおけるリーダーシップとマネジメント。近畿ブロック平成23年度 チーム医療推進のための研修2、大阪、2012年2月

尾池真理：麻薬に関するインシデント。平成23年度第1回オンコロジーセミナー、大阪、2011年5月

尾池真理：がん看護教育プログラム ステップⅠ「症状マネジメント」。がん看護プロジェクト、大阪、2011年11月

尾池真理：がん看護教育プログラム ステップⅡ「看護倫理」。がん看護プロジェクト、大阪、2011年7月

道川綾加：看取りのケアについて。がんサポートチームセミナー、大阪、2011年7月

道川綾加：がん看護教育プログラム ステップⅠ がんの主症状。がん看護プロジェクト、大阪、2011年11月

道川綾加：がん看護教育プログラム ステップⅠ「症状マネジメント」。がん看護プロジェクト、大阪、2011年11月

斎藤明音：がん看護教育プログラム ステップⅡ「コミュニケーション」。がん看護プロジェクト、大阪、2012年1月

斎藤明音：在宅緩和ケア実習での経験。がんサポートチームセミナー、大阪、2012年1月

斎藤明音：緩和ケア看護「口腔ケア」。第6回専門認定看護師教育セミナー、大阪、2011年9月

井出恭子：がん看護教育プログラム ステップⅠ「がんと分かってからの心のケア」。がん看護プロジェクト、大阪、2011年10月

井出恭子：がん看護教育プログラム ステップⅡ症状マネジメント（疼痛）。がん看護プロジェクト、大阪、2011年10月

井出恭子：がん性疼痛の治療薬。第6回専門・認定看護師教育セミナー、大阪、2011年9月

松山和代、上田純子：がん疼痛治療の実際：平成23年度第2回がんサポートチームセミナー、大阪、2011年9月

松山和代：自己決定の時間を要する肺癌患者の一例。第4回大阪緩和ケアチーム医療カンファレンス、大阪、2011年10月14日

渡辺真弓：在宅緩和ケアの経験～家族の立場から～。がんサポートチームセミナー、大阪、2012年1月

廣常秀人：「コミュニケーション講義」住友病院緩和ケア研修会、大阪、2011年6月

廣常秀人：「コミュニケーション講義」市立吹田市民病院緩和ケア研修会、大阪、2011年9月

廣常秀人：「精神症状；気持ちのつらさ、せん妄」大手前病院緩和ケア研修会、大阪、2011年10月